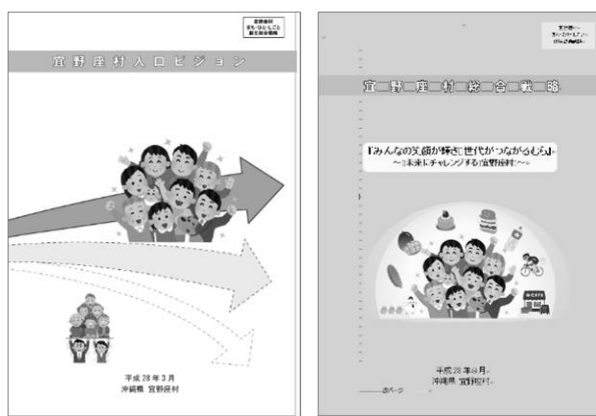


第1章 人口ビジョン・総合戦略の策定にあたって

1 人口ビジョンと総合戦略の位置づけ

宜野座村総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、平成26年(2014年)に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づいて国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と政策5原則及び、「沖縄県人口増加計画」や「沖縄21世紀ビジョン」など沖縄県の計画を勘案しながら、本村の人口動態に係る現状・課題及び将来展望人口等を示した「宜野座村人口ビジョン」（以下「人口ビジョン」という。）を踏まえ、「しごとの創生」・「ひとの創生」・「まちの創生」に特化した計画として策定するものです。

また、今後直面する人口の伸び悩みや超高齢社会問題及び、それに伴う地域経済の縮小といった本村が抱える地域課題の解決に向けた地域戦略を示すとともに、まち・ひと・しごとの好循環を確立することで、「むら」（農山村）としての持続可能性を確保し、将来を担う若者世代が希望を持てる本村の将来ビジョンの1つです。



■計画の位置づけ

